

こうしょうじ 光照寺

真宗興正派真如山光照寺



明治初年、徳島県安楽寺の千葉涼円師がこの地に来て、ここにそびえていた立派な松が気に入りに定住しました。それ以来、布教につとめ、二代鶴雄師のとき、興正寺派に属しました。昭和22年12月に寺院登録を改めて行い、光照寺となりました。今も「北山の庵」と呼ばれています。

本尊は阿弥陀如来です。初代涼円師墓碑に辞世「夢さめてみれば蓮のうてなかな」、自然石の歌碑に二代鶴雄師の俳句「月澄みし松や史跡はいく昔」と刻まれています。

初代涼円師が気に入った立派な松は残念ながら今は枯れて無くなっていますが、その松が根をおろしていたあたりに初代涼円師のお墓が建っているということです。